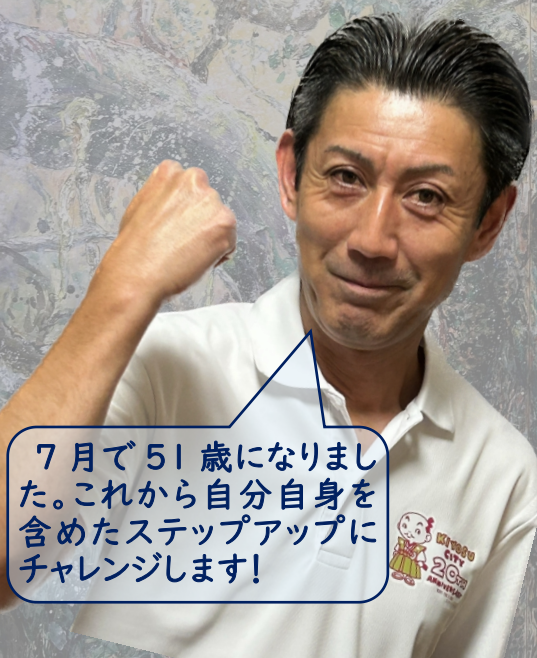




大塚 よしゆき



5月より、福祉常任委員会の委員長に就任いたしました。迫り来る2025年問題を注視し、超高齢化社会における介護問題にもしっかりと取り組んでまいります。この問題は多岐にわたるため行政・地域はもちろんのこと、皆様お一人お一人の協力が必要となります。孤立している人、障がいがある人への関わりや、子どもの成長に対する支援など、近隣での助け合い、住民同士の「つながり」を大切に、これらをカバーする体制づくりにお力をお貸しください。よろしくお願いいたします。

これからまだまだ暑い日が続きます。熱中症には十分にご留意していただき、ご自愛ください。

7月で51歳になりました。これから自分自身を含めたステップアップにチャレンジします！



◆◆◆◆◆ 6月定例会一般質問 ◆◆◆◆◆

★消防団詰所の適正管理とその方針について

消防団詰所は、災害発生時の消防団活動拠点となる重要な施設でありながら、通常時は消防車両や資機材の収納場所となり、消防団員の教育・訓練の場でもあります。しかしながら、本市にある6か所の消防団詰所は、清須市公共施設個別施設計画において適正配置方針の検討対象外となっているため、今後どのような適正管理を行っていくかが喫緊の課題です。

大塚：詰所の適正管理の方針について

危機管理課：6箇所の消防団詰所は、適正配置方針の対象外となっているため、不具合が出た箇所を事後的に修繕する事後保全型の管理方法を想定しています。

大塚：詰所の老朽化対策について

危機管理課：老朽化が進む消防団詰所については、事後保全型管理に準じ、大改修を含め必要に応じた改修、修繕を実施します。

大塚：清洲分団詰所の移転について(老朽化・騒音クレーム・借地)

危機管理課：雨漏りなどの不具合により、部分的な修繕を数回行ってきたものの、完全に解消できていません。そのため、建物全体の防水対策を検討しており、移転の予定はありませんが、今後も建物、消防団、財政状況など、総合的に考えていく問題です。

短期的な改善手法として雨漏り改修を速やかに実施する共に、問題を先送りするのではなく清洲分団所の移転は本市にとって有益な手法と捉え、あらゆる角度から検討することが必要です。



★消防団の災害発生時の初動体制について

かつて若年層が中心だった団員の年齢構成も、今では高齢化が避けられない現状です。また、団員の職業構成も、自営業者中心からサラリーマン団員が中心(R5年 72.8%)となっており、平日昼間の初動体制の強化や大規模災害への備えが急務です。また、消防団の要員動員力や即時対応力という特性を発揮していくには、地域の実情に応じた適正な団員数の確保が必要です。

大塚：火災発生時の初動体制について

危機管理課：火災発生時は、消防指令センターからメールで指令が入り、これを消防団の正副団長と消防団事務局の危機管理課職員が受信できるようになっています。建物火災時は、事務局で状況を確認後、延焼中である場合は消防団員へ招集メールで連絡し、消防団員は詰所で消防自動車に乗車し現場へ駆けつけます。

大塚：サラリーマン団員の割合について

危機管理課：サラリーマン団員の割合は84.5%です。

大塚：大規模災害団員制度など今後の分団の在り方について

危機管理課：消防団員数は、条例定数を下回っているものの、充足率は全国平均を上回り、近隣自治体と比較しても多くの団員が在籍しています。よって、大規模災害団員制度については、現在実施する考えはありませんが、将来を見据え、先進自治体の取り組みを調査してまいります。

この制度は特定の役割・活動をあらかじめ限定して従事する機能別団員のひとつとされ、大規模災害時の人員不足となる場合に限り出動します。団員のなり手として、消防職員・消防団OB・自主防災組織等の構成員・学生・企業団体等の従業員・重機等を保有する企業団体等、幅広い人材が確保でき、防災体制の強化に繋がります。この制度の検討や将来の消防団の在り方を議論し、消防体制の強化に繋がればなりません。



●中学校夏休みの自転車通学(試行)について

熱中症対策のため、西枇中・清洲中・新川中では、夏休みの部活動における登下校時に限り、希望する生徒は自転車通学ができるようになります。

※自転車通学許可申請書を担任に提出し、①から⑥の項目全てに該当する生徒に許可する。

- ①交通ルールの遵守 ②ヘルメットの着用
③点検・整備された自転車の使用 ④損害保険への加入
⑤通学路の遵守 ⑥自転車は施錠できること

●65歳以上の高齢者を対象に新型コロナウイルス予防接種に係る費用の一部助成について

接種費用として、自己負担金が3000円となる予定です。

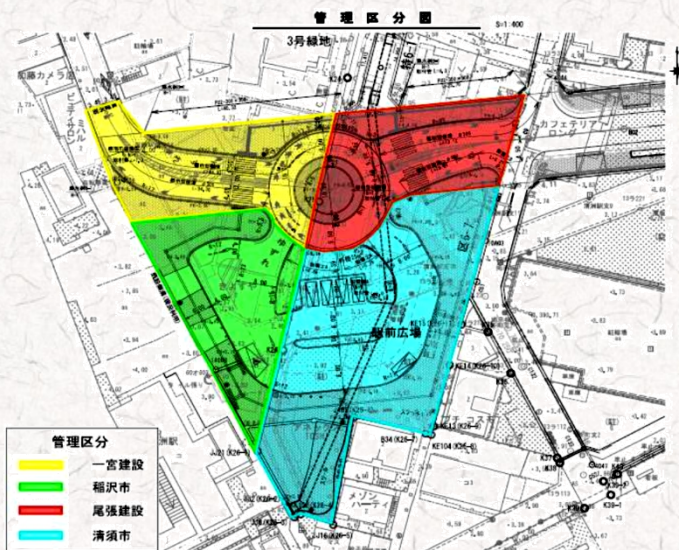
※対象者数は約16,200人で接種者数7,374人を見込んでおり、自己負担金については高齢者インフルエンザ予防接種の負担金を参考に接種費用の見込価格の2割程度となっています。

●JR 清洲駅前広場の整備について

清洲駅前広場整備は、清須市と稲沢市にまたがるため右図のように、両市と尾張建設事務所・一宮建設事務所が連携を図り同調して整備を行う必要があります。

将来の交通量の推計で信号機の設置が難しいことから県内でも14箇所しか設置されていないラウンドアバウト交差点方式を採用します。

夏休み以外における通学時の自転車通学を検討するための試行にもなっています。



清洲駅前線や駅前広場整備の工期に合わせたJR清洲駅西口の開発が市民の皆様の更なる利便性向上に繋がります。引き続き稲沢市・稲沢市議会との連携を密にし現状の動向を把握しながら今後もこの課題に取り組んでまいります。



♠♠♠♠♠♠ よしゆきダイアリー ♠♠♠♠♠♠



5/21 五条川防災センター視察



5/25「清須をよくする会」総会



6/9 水防訓練



7/12 岬まき衆議院議員との街頭活動



7/10 青少年健全育成大会



7/13 水上卓哉「現展いのちの大樹」

